



TITLE:

通信

AUTHOR(S):

---

CITATION:

通信. 天界 1929, 9(102): 478-481

ISSUE DATE:

1929-08-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161452>

RIGHT:

通 信

## シヤブレイ教授より便り

米國ハーバード學院天文臺にて

1929年 4 月 4 日

京都帝國大學天文臺  
山本教授殿

拜啓。京都に於ける天文部の發展のこゝを拜聞して大に喜び上げます  
又、貴兄が今度ニヶ所の天文臺の主任になられた事を慶賀致します。  
尙ほ新城教授が貴帝國大學の總長に推舉せられた事についても御祝ひ  
申します。

日蝕地では米國の天文家にも御會ひになりませう。しかし、ステッ  
ソン教授はアロア・スターの方へ行かれますから、貴兄は御會ひにな  
らないかも知れません。

私は萩原氏に屢々會ひます。二三週以前、氏は御夫人を迎へるため  
サンフランシスコへ行かれましたが、暫くすれば又、ケンブリヂへ歸  
られませう。私共は氏と御知り合ひになつた事を喜んで居りまん。

當方の天文臺では皆相變らず元氣です。今、フンド（Hund）教授  
と、テン・ブルゲンカータ（Ten Bruggencate）博士とが、暫く滞在して  
ゐられます。

古代の天文記録の研究によつて種々な問題を解く目的で、當方では  
モントリオルの支那研究文庫（Chinese Research Library）のメンバ  
ーに申込みました。かうして既に今アメリカにある資料だけからでも  
何等かの或る確實な結果が獲られるだらうと思ひます。尤も此等の大  
文庫と雖も、大切な古代記録のホンの一部分に觸れるといふに留まり  
ませうが――

拜 具

ハーロー・シヤブレイ（署名）

二伸。 先日は月蝕の寫眞を御送り下さつて有難う御座います。實にあれは見事なものです。私は頂戴した寫眞から幻燈畫を造らうと思ひます。尖端が下方に向いてゐる三日月形の月は珍しいものですから。

シャブレイ

## パークレーより

ハイケイ 皆様お揃ひで御機嫌宜うございますか。私共兩人もお蔭様で機嫌よく致しておりますから御安心下さいませ。私共出發の爲めにはお忙しい中を種々御配慮に預りまして誠に喜ばしく存じて居ります。御出發の御準備にお忙しい折に澤山御紹介狀を頂きまして有難うございました。まだリックの方へ参りませんから、ごなたにも渡してありませんが、その内に出掛けるつもりに致してをります。Einarsson 氏はこの半年は山の方にあるannてをられますが八月から歸つて來られる筈です。先般 Mr. Bern のドクトル試験の節 Dr. Menzel 氏が來られましたが後で知つたので挨拶出来ませんでした。その時の試験委員長は Dr. Moore でしたが、その後こちらへ來られた節紹介なしで挨拶しましたら貴方を知つておられ、先方からその話が出ました。

先達つて Crawford 氏の部屋へ往つて彼が私に呉れるために Paper をさらに部屋を出た後でそこに見廻してゐた節貴方がたのお寫眞の Handwriting が壁にはつてあるのを見ました。それはリックでの記念撮影を見ました。丁度一人の婦人が後から尋ねて來たので、Crawford 氏が歸つて來てからは話に出す機會がありませんでしたが、お懐しく思つた事です。

話が別になりますが御心配いただきました私の母の病氣は歸つて見ましたら少し元氣は無かつた様子でしたけれども、大したことはありませんで先づ安心いたしました。見てもらつた醫者について様子を聞きましたところ二人の醫者の推定は少々宛は異つてゐますけれども要するに大して心配する必要はないといふ點では一致してゐましたので、又母もわざわざ京都へ出たくないを申しますし其儘に残して参りました。其後こちらへの便り

には此の度は快復が手間取つたけれども、餘程よくなつたご申して参りましたので安心してをります。

日食はいかゞでございますか。當地の新聞にも前々日には大分日食に關して出てゐましたが、特にアインシュタイン effect について出てゐましたが、その後の天候については氣を付けてゐましたが一向出なかつた様です。

この間來た Pop. Ast. に一寸した報知を見たのみで天文臺の人々も大して話題にしてゐませんでした。

Pop. Ast. では、他は少々曇つたがスマトラでは天與の天氣がめぐましたごありましたが御成功なりしこそを祈ります。

來年こちらでは金環食のほんの少しの間に皆既があるこのこゝで意氣込んでゐる様です。

六月十日

上 田 穰

山 本 一 清 様

御 奥 様

---

## 伯 林 だ よ り

謹啓 永々御無沙汰いたしました。其後お變りはありませんか。最早南洋に於ける日食遠征ご、第四回汎太平洋會議からは、學術のお土産ごつさりで御歸朝なされた事ご存じます。御手紙を差上げやう差上げやうご思ひながら御留守中のこゝでもありついで今迄延引いたしました。天文臺は何分御一人で色々御急がしい事だご信じます。それに日食遠征の結果の處理も大變なこゝでせう。扨て小生もお蔭様にて至極健全に暮してゐます。伊太利亞の春を二ヶ月有餘ゆつくりご味つて、五月一日當地伯林に入城いたしました。時正に春酣の候春の草花が咲き揃つてゐます。大分なれて來ました。會話も日常生活には何等不自由を感じなくなりましたけれども、少し複雑な議論になるごわかりません。今後ごこに落付くかまだ未定ですか。二ヶ月の後にボツダムに引越して半年ばかりルーデンドルフ教授のこゝで

少し研究してみたいと思つて居ますが、それもまだはつきりごわかりませ  
 ん。獨乙特に伯林の學壇は今年の始めアインシュタイン教授が電場と重力場  
 とを結び付けたフェルドテオリを出して以來、其事で花を咲かしてゐるや  
 う今です。ブロンイセンのアカデミーのジツツングスベリヒテミなつて來  
 ます。大學の方はもう夏休みになりました。暑さが加つて來ます。ビール  
 の味は格別です。

時節柄御自愛專一を祈りあけます。末筆ながら奥様にくれぐれもよろし  
 く御鶴聲のほご願上けます。

六月二十八日

於伯林 荒木俊馬

山本一清様

御侍史

### 會 員 一 覽

(東京府下) (1)

大森町不入斗一四八八	觀測部員	菱谷六次郎
入新井町新井宿一三七〇		新井浩
荏原町下蛇窪六八〇		玉木英彦
洗足町田園都市西臺南七		佐野志郎
品川町南品川二三七		栗村一郎
澁谷町綠岡 青山學院		安井正男
同 常盤松實踐女學校第三寄宿舎		錦綾美喜
同 猿樂四九		田北佐平
高田町雜司ヶ谷一五〇		井村純三
同 高田一一五八	觀測部員	早瀬喜太郎
駒澤町上馬一四三	支部幹事	五藤齊三
同 同 四六		伊吹高峻
同 同 六七五		神田道太郎
代々幡町代々木一三八六		大角留吉
世田ヶ谷町太子堂九二林英一方	觀測部員	淺野俊雄
同 同 三二八		河原義郎
同 元宿一〇〇七		副島民雄
中野町谷戸二三九〇	觀測部員	内田民子